

ご利用者のご家族の皆様へ

日ごろ、ご利用者の皆様そしてご家族の皆様には、本施設の運営等にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。本年度も残すところ半年となりました。新型コロナウイルスの脅威もだいぶ解放される状況となり、施設内でもコロナ禍前の行事等が以前のように戻ってまいりました。

しかしながら、世間ではインフルエンザや変異したコロナウイルスによる感染症が流行しつつあります。ご家族の皆様には、従来のように施設内行事等の見学や居室への行き来につきまして、まだ自由に出入りできない状況ですが、少しでも施設内の状況をお伝えしたいと思い、お便りを作成し、ご家族にもご利用者様の様子をご覧いただきたく発行させていただきます。不定期の発行となりますが、ご覧いただけたら幸いです。

【納涼会と敬老会実施】



7月20日(日)に、令和7年度虹の園『納涼会』を実施しました。ご利用者の皆様は、スイカ割に参加し、大きなスイカを叩きスイカ割を体験しました。みなさん楽しいひと時を過ごすことができました。

【おおきなスイカを割る利用者さん】



【鴻巣楽鼓の会による虎の舞と太鼓の演奏】



【敬老会で振舞われたおやつ】

9月14日(土)に、敬老の日にちなみ、令和7年度虹の園『敬老会』を実施しました。今回特別にお祝いされる方は、100歳以上の方、卒寿の方、傘寿の方、米寿の方の16名です。当日は、『鴻巣楽鼓の会』による虎の舞と太鼓の演奏が披露され、会に花を添えてくださいました。ご利用者の皆様も、迫力ある太鼓の音を体全体に感じ、元気をいただいた会となりました。

祝

【埼玉県最高齢者に認定】

9月15日の敬老の日に、新聞紙上でも掲載がありまして、埼玉県内で最もご長寿として、本施設に入所されています『木村ツネ様』が認定されました。木村様は、大正2年1月12日お生まれで、御年112歳となります。改めて、皆様とともに喜び申し上げます。おめでとうございます。



